

ただいま、おかえりって
言いあえるうちに

みんなで広げよう、
シトラスリボンプロジェクト。



Citrus
Ribbon
PROJECT

from ehime

長野高齢協はシトラスプロジェクトを応援します。



コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。シトラス色のリボンやロゴを身に付けて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（学校）です。

「ただいま」「おかえり」と言い合えるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことに繋がります。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。

感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々が、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言い合えるまちでありますように。そんな想いを共有していただける方に、次に紹介する方法で、あなたの住むまちにエールを送っていただけたらうれしいです。



1 シトラスカラーのリボン・紐などを準備します。リボンの色や材質はあなたの創意工夫で



2 その材料で「地域・家庭・職場（学校）」を示す「三つの輪」をつくれれば「シトラスリボン」のできあがり。結び方は「飾り結び」「総角結び」などと呼ばれるものを参考に



3 この「シトラスリボン」を身に付けたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示してみたりしてください。「お元気ですか?」「また会いましょう!」の言葉とともに贈り合うのもよいかもかもしれません。

リボンの画像を SNS で発信する事も、このプロジェクトが広まるきっかけになります。

この運動に賛同し、みんなで取り組みましょう

長野高齢協理事会